

豊明市教育委員会 会議録
「定例会 平成２９年８月」

平成２９年８月２２日（火）午後２時３０分豊明市教育委員会８月定例会は、豊明市役所東館３階会議室１０に招集された。

１ 応召委員は、次のとおりである。

教 育 長	：	伏 屋 一 幸	教育長職務代理者	：	市 野 光 信
委 員	：	青 山 佳 代	委 員	：	兼 子 幸 夫
委 員	：	久留島 夕 紀			

２ 不応召委員は、次のとおりである。

な し

３ 出席委員は、次のとおりである。

教 育 長	：	伏 屋 一 幸	教育長職務代理者	：	市 野 光 信
委 員	：	青 山 佳 代	委 員	：	兼 子 幸 夫
委 員	：	久留島 夕 紀			

４ 欠席委員は次のとおりである。

な し

５ 会議事件説明のため出席を求めたものは、次のとおりである。

教 育 部 長	：	加 藤 賢 司	学 校 支 援 室 長	：	下 出 修 史
学 校 教 育 課 長	：	馬 場 秀 樹	生 涯 学 習 課 長	：	高 木 安 司
図 書 館 長	：	糸 和 広	とよあけ創生推進室長	：	川 島 康 孝

６ 本会の事務に従事したものは、次のとおりである。

事務局（課長補佐）後 藤 明 紀、事務局（主事）近 藤 菜 保

本会事件は、次のとおりである。

議案

（１）豊明市立双峰小学校及び唐竹小学校統合検討委員会の答申について

（２）教育委員会補正予算（案）について

報告

（１）委員の委嘱について

（２）教育委員会後援申請について

その他

（１）平成２９年度豊明市の教育について

（２）平成２９年度運動会・体育大会の日程について

開 会 宣 言 午後２時３０分、８月定例教育委員会の開催を宣言。

会 議 録 承 認 ７月定例会（７月１８日分）の会議録について、承認する旨確認。

教育長 それでは、私の方から先回の教育委員会後の行事などの報告をいたします。まずもって、８月１日に実施された愛知地区教育委員会連絡協議会の研修会及び３日に開催された市内教員の研究発表会に、多数の委員の皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。愛知地区の研修会では、愛知県学校給食会ならびに豊明花き市場を視察いただき、普段見られないバックヤード的な施設の見学や、説明を聞くことができ、充実した研修になったと思います。また秋には宿泊研修もごございますので、是非皆様の参加をよろしく願います。次に８月４日に小学生を対象としたイングリッシュキャンプが中央公民館で行われましたので報告します。この取り組みは今年度から新たに取り組んだもので、中学生に加えて小学生にも英語力をつけてもらう狙いで始めたものです。内容としては、中央公民館に、フィリピン、ネパール、デンマーク、コロンビアの４か国のブースを作り、入国から出国までの間に４つの国を周り、それぞれの国の文化や習慣、観光などについて英語で学習するという内容でした。また、それぞれの国について学習した内容を、参加者全員の前で英語で発表するなどの取り組みもあり、子どもたちも楽しく学べたと思います。スタッフも充実しており、大変有意義なキャンプになったと思います。次に、８月５日にナガバノイシモチソウの一般公開があり、午前中見学に行っておりまいました。今年も豊明高校の生徒がボランティアで、一般の見学者にナガバノイシモチソウの説明をしてくれており、好評とのことでした。午後から、豊明夏祭りの安全祈願祭があり出席しておりまいました。翌６日には午前６時３０分から双峰小学校において市民ラジオ体操会があり、出席しておりまいました。早朝にもかかわらず、少年野球の子どもたちを中心に２００名ほどが参加してまいました。８月８日から１０日まで中学校のイングリッシュキャンプが豊根村で実施され、９日に教育部長・学校教育課長とともに見学に行っておりまいました。昨年と比べ、スタッフの数も多く、充実した活動ができたと思います。終了後、市役所で英語での活動報告もありました。次に、１８日に市制４５周年記念として「子ども議会」が開催され、市内の小学校５年生から中学校３年生までの児童生徒２０名が参加し、街づくりやイベント開催など大人顔負けの質問があり、盛り上がりまいました。学校関係では、クーラーの設置や校則、プール開放、テスト週間や教室の備品のことまで、幅広く質問がありまいました。子どもたちの市への興味の高さや、知識の広さ、たくましさを感じることでまいました。次に、１９日に家庭教育推進市民大会があり、出席しておりまいました。後半には、市内３中学校の代表の生徒６名による少年の主張があり、講評ということで、若干の感想を述べてまいただきました。今回の発表も昨年と同様に、中学生らしいまっすぐな考えの中で、命の大切さや、努力することや挑戦することの大切さ、人への優しさなどについての主張でありまいましたが、大人である我々が改めて中学生から教えてまらう機会になりました。委員の皆様方もご参加くださり、誠にありがとうございました。次に、２０日の午前中に水防訓練があり、午後から２回にわたり、市役所分庁舎と南部公民館で、市長と市民との意見交換会があり、市長・副市長とともに参加しておりまいました。主な意見・質問は、「本市の人口増加策の中でも、特に区画整理の地区について、現在の計画地以外にも実施できないか」、「都市計画道路の予算額が数回変更されたのはどうしてか」、「花の街とよあけをもっと拡大してはどうか」、「市内の公共交通をもっと便利にできないか」、「ひまわりバスの増車について」など、街づくりに関する質問が多く寄せられまいました。教育関係については、「双峰小学校と唐竹小学校の統合の早期実現について」の要望や、「間米南の区画整理との関係はどうなっているか」、などのご質問がありまいました。その他については、「議員定数の削減の取り組み状況が、現在どのようになっているか」、などについての質問がありまいました。出席者は、２か所で４０名程度でありまいました。次に９月議会の提出案件の報告をいたします。一つ目として、教育委員の選任について、９月末で任期満了となる兼子委員の後任として、文化協会前会長の長山加代子さんを任命したいということで提案する件、二つ目としては、９月補正予算が全体で約１億８、０００万円でありまいますが、そのうち教育委員会とし

て、約 1, 870 万円の補正予算を計上する件であります。主な内容としては、小中学校の校務支援システムの導入、大宮小学校の学級数増加のため、パソコン教室を普通教室へ転用するための工事、新たに文化財とした鎌倉街道の看板設置、文化会館の非常放送設備改修、緞帳補修、中央小学校の放課後子ども教室として、中島区集会所を使用する協議が整ったことにより、開始のためのスタッフ報酬や事務用品の準備などの経費を計上いたします。以上が補正予算の内容であります。最後に、8月1日に双峰小学校及び唐竹小学校の統合検討委員会があり、市長への最終答申が決定されました。後日、統合検討委員会小川委員長から市長に手渡しされたようであります。本日、その件に関し、とよあけ創生推進室長から詳しく報告がありますので、質疑等はその折にお願いいたします。私からの報告は以上です。今の報告につきまして、ご意見ご質問等がありますでしょうか。

委員 小学生を対象に、中央公民館でイングリッシュキャンプが実施され、最後に英語で発表したという報告がありましたが、どのような内容だったのでしょうか。

教育長 4か国を15分ずつ周り、1時間で世界を旅するというシチュエーションなのですが、それぞれの国のALTから、その国の遊びや文化を聞いて、吸収したことを各グループの代表の子がみんなの前で発表しました。それに対して点数を付け、それだけではなくゲームなどいろいろな活動でポイントを付けて、どこが優勝かを決めるというものでした。

委員 豊根村で行なったイングリッシュキャンプは、豊根村の子たちとの交流はあったのでしょうか。

教育長 昨年度は、卓球やフリスビーなどをしましたが、今年は、豊明市と豊根村のそれぞれの文化や人口、学校の様子などについて4グループずつでB紙にまとめ、英語で発表しました。交流にもなりましたし、大変勉強になったと思います。昨年に比べて中身が濃い内容になっていました。その他にご質問等よろしいでしょうか。(なし)

議 事 の 経 過

教育長 それでは議事に入ります。議案(1)「豊明市立双峰小学校及び唐竹小学校統合検討委員会の答申について」ご説明をお願いいたします。

とよあけ創生推進室長 (資料第1号に沿って説明を行う。)

教育長 今の説明につきまして、ご意見ご質問等ありますか。

委員 私も第8回の会議は傍聴させていただきましたが、非常に熱心な議論がされ、細かい点まで綿密な作業で、委員長の方も冷静な取り回しで素晴らしい手腕だと感じておりました。いろいろな関係者や当事者の気持ちになって考えなければならないという認識が、会議が進行するに連れて深まりました。最終的には総合教育会議で、ということになると思いますが、しっかりとした責任意識を持って、こうすべきであるというところにまとめ上げるのに、力を尽くさなければならないという意識を新たにしました。今のご説明の中で一点、学校生活面の課題について、人間関係の固定化とありますが、これは大変重要な要素だと思います。6歳から12歳を過ごす小学校では、卒業の時点で人生の半分において人間関係が固定化しているとなると、その社会のヒエラルキーの中で上位でない場合は、その位置付けを固定化されることがあるということで、非常に大きな問題をはらんでいるように思います。

教育長 よい点や課題が挙げられていますが、数の多い少ないではなく、一つでもこの課題があっ

てはならない、という重要な要素はあると思います。そのようなことを取り除いていくことが大事だと思いますので、今委員がおっしゃったことも非常に重要であると思います。

とよあけ創生推進室長 私は唐竹小学校に一週間、教員補助のような形で入らせていただき、子どもたちと朝から過ごしておりましたが、やはり、人間関係は固定化している面も感じました。逆に、固定化によって、すごく居心地がいいということもあります。毎日一緒に遊んでいる子どもたちを想像していただければよいと思いますが、よく知った仲で、誰がリーダーで誰がどの位置にいて、ということが決まっているので、それが居心地がよく、アットホームな雰囲気につながっているのではないかと思います。小規模校のメリットには、アットホームであるということがあり、それがよいと感じている子や保護者が結構いることも事実です。私の個人的な感覚になりますが、一生その中で過ごしていけたらいいのかもしれませんが、特に高学年になればなるほど社会を学んでいくので、これから社会に出て行くために、教育の場としてそれが本当にいいのか課題に感じました。そのようなことから、人間関係に広がりがないというのは、今回統合を考えるのに非常に重要な部分になると思いました。

委員 途中で、「切磋琢磨」という言葉を入れるべきか削除すべきかという議論があったと思いますが、学習効果を上げていくには、１クラスの人数が少ないほうがよいという要素と、同年代の子どもたちが一つの空間に集まることによって、切磋琢磨していくという上昇志向の要素があります。「切磋琢磨」という言葉が意識的に除かれてしまったように感じています。

とよあけ創生推進室長 これは、統合検討委員会の委員の指摘により、使用していません。統合検討委員会の委員長は、「切磋琢磨」が重要であるとおっしゃっていますが、一方で、学校現場に携わられている方、特に小学校は、「切磋琢磨」という言葉に違和感を持たれている方が多くいらっしゃいます。本当は、よりお互いが高め合うという意味合いであると思っているのですが、「切磋琢磨」イコール競い合って勝ち負けを作る、という意味に捉えられる可能性があり、そのようなことを避けるために言葉を選んだ結果、「切磋琢磨」を使用しませんでした。これは議論が分かれました。

委員 価値観を一つにして切磋琢磨すると序列をつけてしまうので、「多様な個性を尊重する」と答申にもありますが、それが実態に近いのではないかと思います。

とよあけ創生推進室長 「多様な個性を尊重する豊かな人間関係をつくる」として、穏やかな表現にしています。文部科学省の適正配置に関する指針には、「切磋琢磨」が使われていますが、統合検討委員会では、結果的に使用していません。

委員 文部科学省からも出てきているように、統合の話題には必ず出てくる言葉だと思いますが、「切磋琢磨」だと、とげがあるように感じられることもあって、とよあけ創生推進室長が言われるように、お互いを高め合うという表現だと優しく感じると思いました。

とよあけ創生推進室長 個人的には違和感はないのですが、イコール競争というイメージを持たれてしまうことが多いということを改めて感じました。

教育長 他にご意見ご質問はありますか。

委員 １クラスあたりの児童数は、統合することになったら、３５人学級になるということですか。

とよあけ創生推進室長 統合検討委員会は、教育行政を決める決定権がありませんので、いろいろ

な分析をした結果、教員の負担も考え、子どもの個に応じた指導をするためには、1クラス40人は多すぎるのではないかとということで、これは提言になっています。このまま統合せずに市の負担でできるのか、もしくは、統合して浮いたランニングコストで教員を配置できるのかということは、統合検討委員会ではわからないので、一度市長に投げ返して、どうしたら実現できるのか基本方針を策定してもらいます。但し、いろいろと検討した結果、40人学級よりは35人学級、さらにもっと少ない人数の方が個に応じた指導ができるということがわかりましたので、市長にどのように実現していくのかを検討していただきたい、という提案になります。

委員 まだ決まっていはいないということですね。

とよあけ創生推進室長 予算のこともありますし、それ以外にも、どのようにして市で教員を雇っていくのかも難しいところです。他にも、例えば教室の問題も出てきます。クラス数が増えることによって、空き教室があるのかという施設面の問題が出てきますので、そのようなことも全部踏まえて、どのようにしたら実現できるのかを考えなければなりません。全学年において35人学級にすることが、子どもたちにとって良いだろうという提案はいただいています。

委員 とても理想的であると思ったので、これが実現するとありがたいことだと思います。

とよあけ創生推進室長 実現させたいと思うのですが、いろいろと課題もあるので、それをどうしていくのかというのが、今度は市の課題となります。

教育長 他にご意見ご質問はよろしいでしょうか。(なし) 今後のスケジュールですが、来月以降に総合教育会議を開催して、市長がこれに対する考え方を、教育委員の皆様と意見交換することになると思います。そこである程度の結論が見出せれば、今度は市民の皆様の理解を得られるようにやっていくこととなります。最終的には教育委員会で結論を出さなければなりませんので、結論を出すにあたっては、保護者や市民の意見を、教育委員会として聴かなければならないと考えております。そのようなことを経ながら、最終結論を出すこととなりますので、また教育委員の皆様にもよろしくお願ひしたいと思ひます。では、ただいまの議案(1)「豊明市立双峰小学校及び唐竹小学校統合検討委員会の答申について」承認される方は挙手をお願いします。(全員挙手) それでは、承認いたします。続きまして、議案(2)「教育委員会補正予算(案)について」ご説明をお願いします。

学校教育課長、生涯学習課長 (資料第2号に沿って説明を行う。)

教育長 今の説明につきまして、ご意見ご質問等ありますか。

委員 キャリアコミュニティプロジェクトということで、3中学校で講演会を行なうということですが、どのような方が講師をされるのでしょうか。

学校教育課長 今のところ講演の予定をしている講師の方は、宮本延春さんという方で、作家、エッセイスト、元高校の教師の方です。「オール1の落ちこぼれ、教師になる。」ということで、講演をされている方です。いじめ問題や、未来の自分を見つける方法、今あなたにできること、ということで講演をしていただく予定です。

教育長 その他にございますでしょうか。

委員 キャリアコミュニティプロジェクトのコンセプトや、ねらいを教えてください。

学校教育課長 これは平成２９年度の愛知県の事業で、「魅力あるあいちキャリアプロジェクト」の中のキャリアコミュニティプロジェクトの委託ということで、豊明市が指定を受けたものです。豊明市は今回、男女共同参画の部分の一つのテーマで指定を受けております。基本的には、働き方や生き方を学び、これから男女協働参画社会を作ろうとする社会の一員になるということで研修を行なうものです。生徒に身に付けていただきたい力は、人間関係の形成力、社会形成能力、自己管理・自己理解能力、課題対応能力、キャリアプランニングの能力ということで、講演をしていただくというのが主な内容になっております。

委 員 わかりました。ありがとうございました。

教育長 他にご意見ご質問等ありますか。（なし）では、ただいまの議案（２）「教育委員会補正予算（案）について」承認される方は挙手をお願いします。（全員挙手）それでは、承認といたします。議案は以上となりますので、報告に移ります。報告（１）「委員の委嘱について」ご説明をお願いします。

学校教育課長 （資料第３号に沿って説明を行う。）

教育長 今の説明につきまして、ご意見ご質問等ありますか。（なし）続きまして、報告（２）「教育委員会後援申請について」ご説明をお願いします。

学校教育課長、生涯学習課長 （資料第４号に沿って説明を行う。）

教育長 今の説明につきまして、ご意見ご質問等ありますか。（なし）では、報告は以上となりますので、その他に移ります。その他（１）「平成２９年度豊明市の教育について」ご説明をお願いいたします。

学校教育課長 （その他資料①に沿って説明を行う。）

教育長 今の説明につきまして、ご意見ご質問等ありますか。（なし）では、続きまして、その他（２）「平成２９年度運動会・体育大会の日程について」ご説明をお願いいたします。

学校教育課長 （その他資料②に沿って説明を行う。）

教育長 今の説明につきまして、ご意見ご質問等ありますか。（なし）では、次回の教育委員会の日程についてお願いします。

学校教育課長 （９月１９日（火）午後２時３０分から９月定例教育委員会を開催、１０月２６日（木）午後２時３０分から１０月定例教育委員会を開催する旨提出。）

教育長 他にございますか。（なし）

教育長 閉会宣言 午後３時４５分、８月定例教育委員会の閉会を宣言。